

アルマナック

ALMANAC

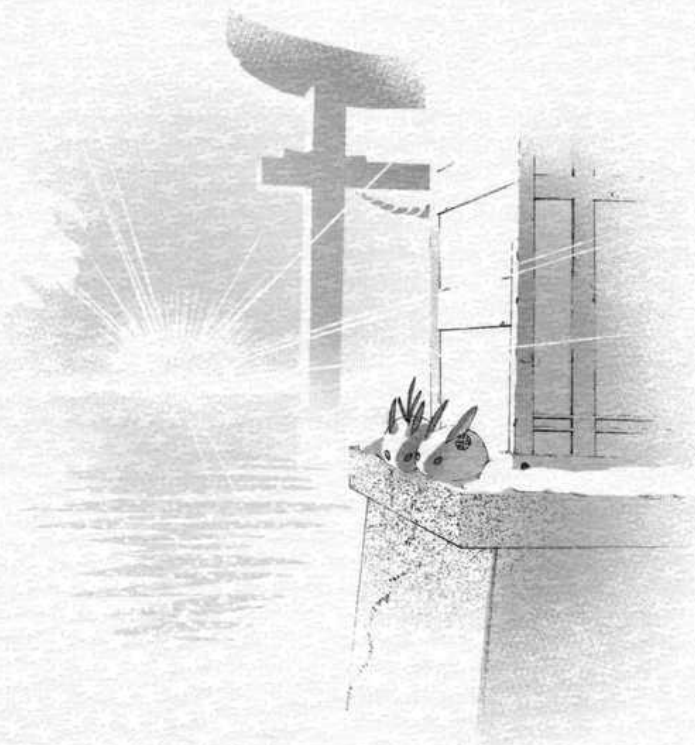






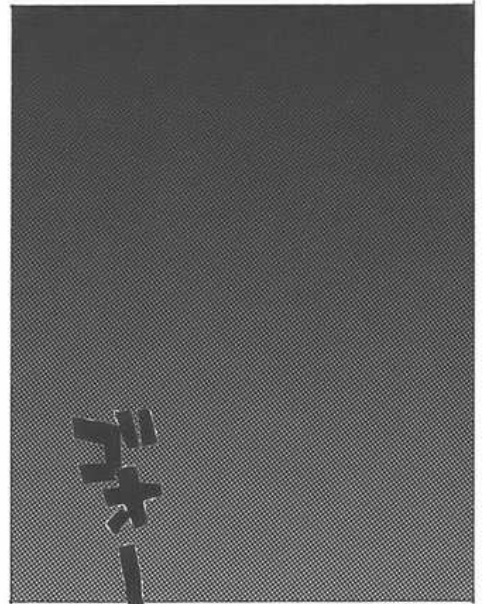
アルマナック



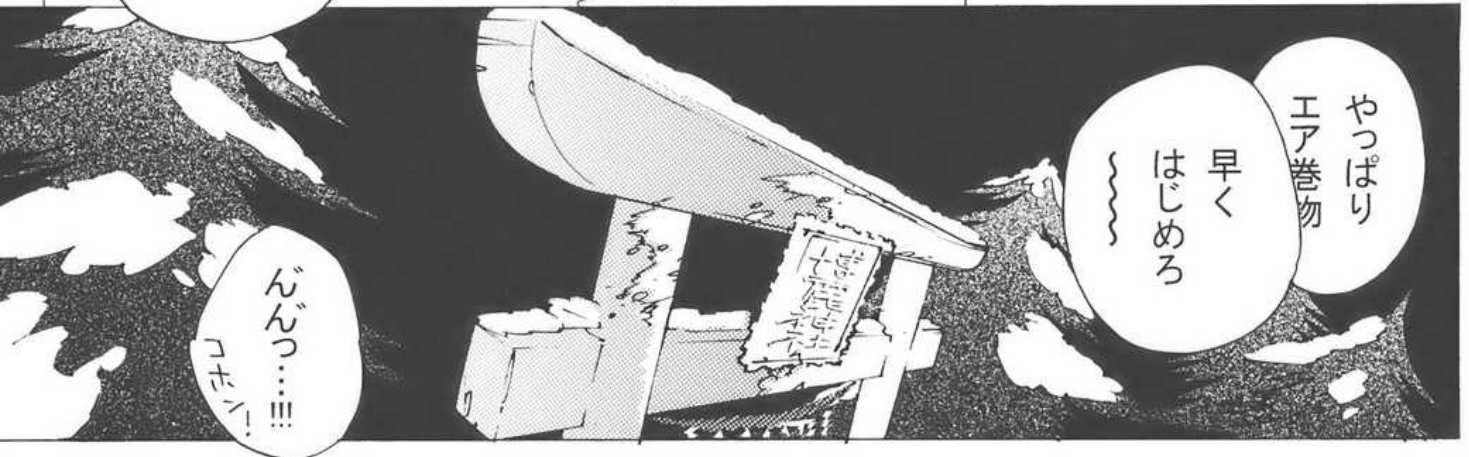




えー…
今年一番の
思い出と
いえば



ニホーニ



んんっ…!!!
コナン!

やっぱり
エア巻物
早く
はじめろ
〜



えー…では

今年も一年



忘 年 の 友 空 十 雲 BOUNEN NO TOMO KWU TEN UN





ふふ、いいこと
聞いてしまっ
ましたわ

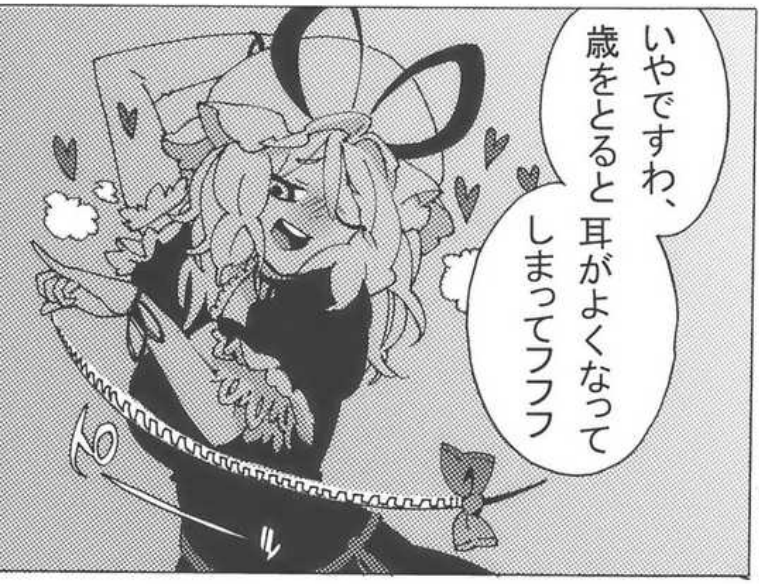
ニラチンね
あの2人アレ
なのよ



あれ？
そういえば
さつきから
阿求さんの
姿が…

慧音先生と
化粧室に
行かれましたよ

なんだ？
連れシヨ
ンか？



いやですわ、
歳をとると耳がよくなって
しまつてフワ



では、早速



くばあ

ゆっきんこ
ゆっきんこ

ゆっきんこ
ゆっきんこ





すごいな
一面ピンクの
雪だ

里の灯りを
雲が反射してる
んじゃないかな



はるーになったら
うーみやっかわっ♪

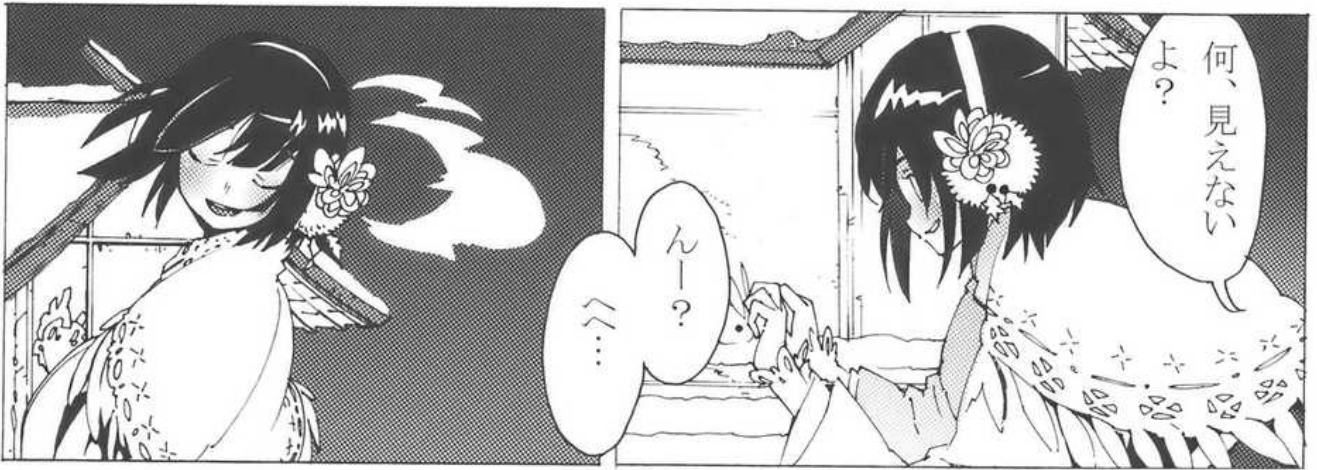
なつーはほっしぞーら
あーまのっがわっ♪

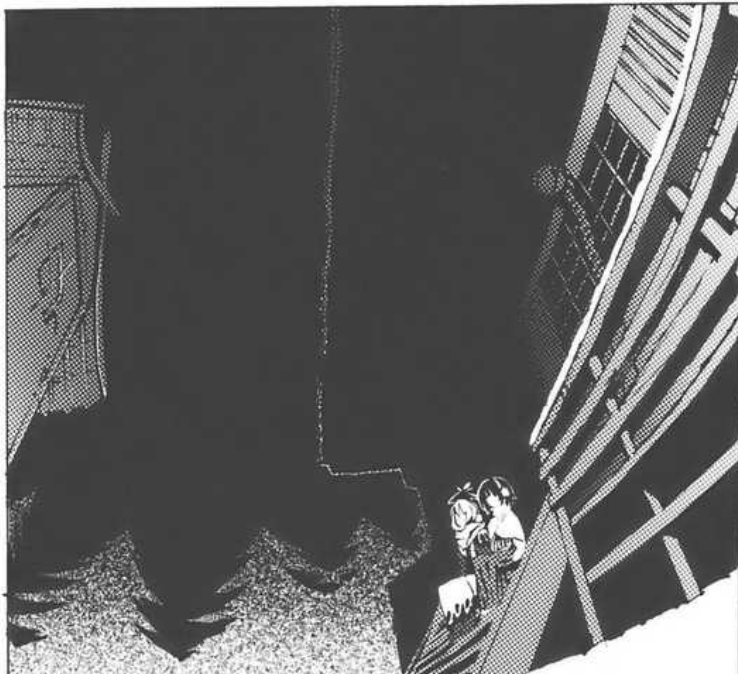


阿求…
手、しばれて
きたんじゃないか？

待って
あとちよつとで
できるから









今年も色々あったな

どうかな、もう忘れちゃった

5/24



あ、そうそう豊穰祭の時…

私、豊穰祭のことなんて

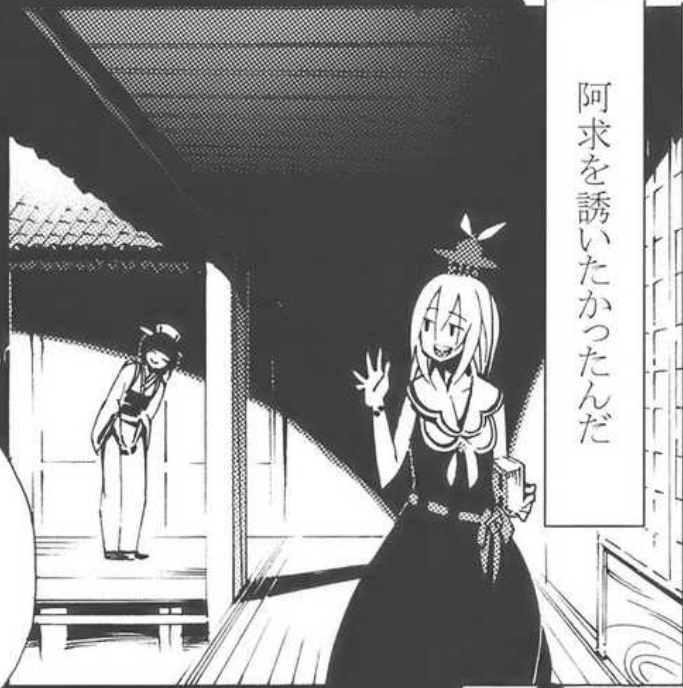
知らないなあ…



あ、うん…

ほんとうは

阿求を誘いたかったんだ



私も今までは編纂の日々でまともに出掛けもしなかつたけど



幻想郷縁起は書き終わつたし明日からは

思い切り羽を伸ばすよ



ただ、

気づいたとき
にはもう

「こんな時に遊びに
誘うのは間が抜け
すぎていないか」



「阿求は迷惑に感じる
んじゃないか」
という心の音が

頭の中を
駆け巡って

だからけーねも
遠慮なんか
しないで



何にでも
誘ってよ

そんなことを
思っただらう…

なんで
あの時

聞してる？

すびばせん

…いや、



ほんとは すこし

こわかった



友人以前に、同じ
歴史家として



阿求の領域に
立ち入ること

私の小さな慢心は
そこから必死に

目を、そらしていた

あの日うづくまっ
いた彼女は、限りなく
遠いところにいて

わあ
大きい！



牡丹雪
だなあ

ピンクの雪だから
…桜吹雪だよっ

はは、それは
ちよつと違う

ぞっ？



不思議だね、これ
までの転生で阿求は
千回、雪を見る

いかげん見飽き
たんじゃないの？

早甲の転生

や、

という
より…



ちべたい

はは

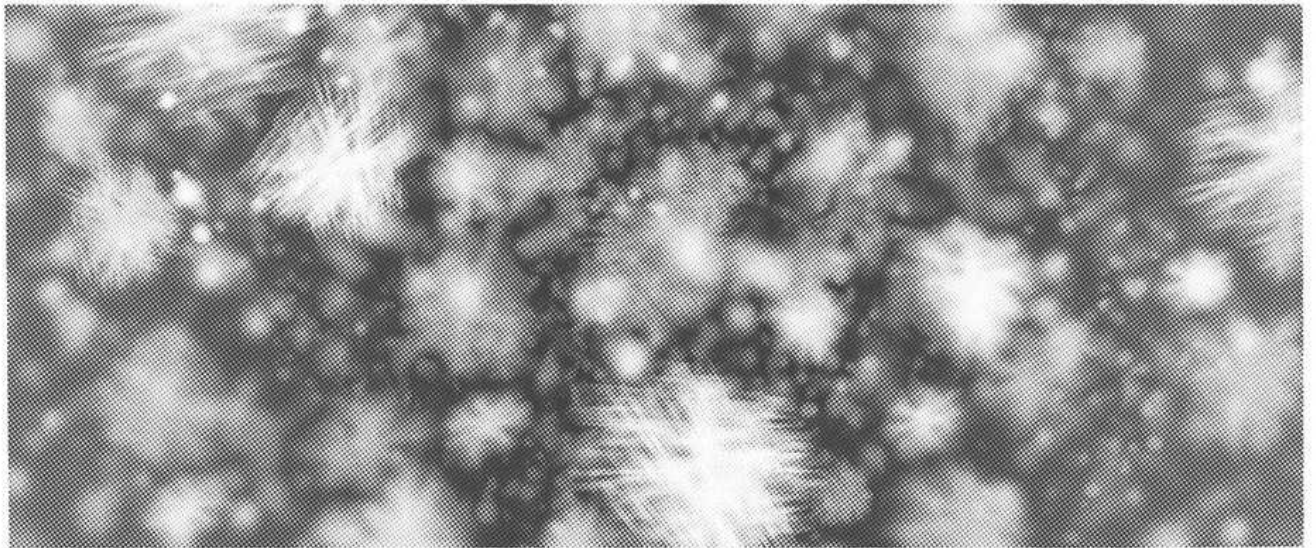
今日はほんと
に元気だな



目を閉じたら、降って
いるかも分からない
埋もれてしまっても
気づかない。雪の足音の
そんな静けさ

それが、ちよつと
…こわかったんだ
—けど

今夜の雪は…
何でかな、私の目に
とてもやさしく
映るよ







こんなにも

突き刺さるもの
だったろうか

ひとの心が溢れる音とは

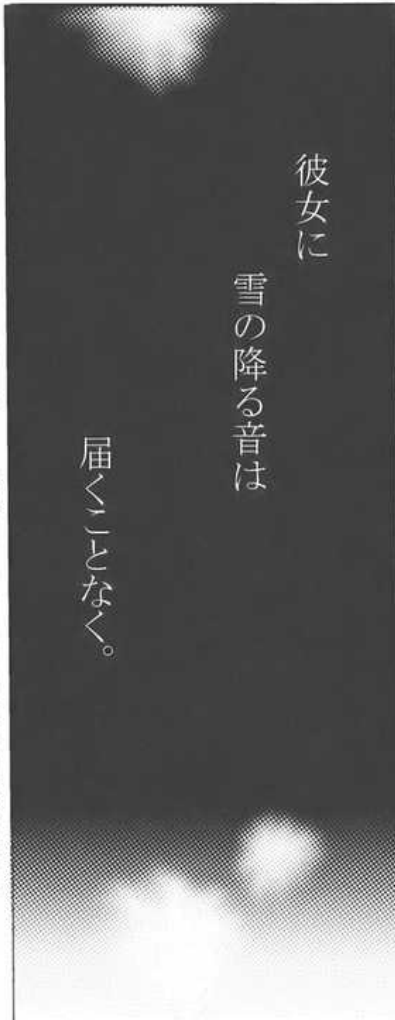


白い闇の中で
笑うとか怒るとか

もしかしたら



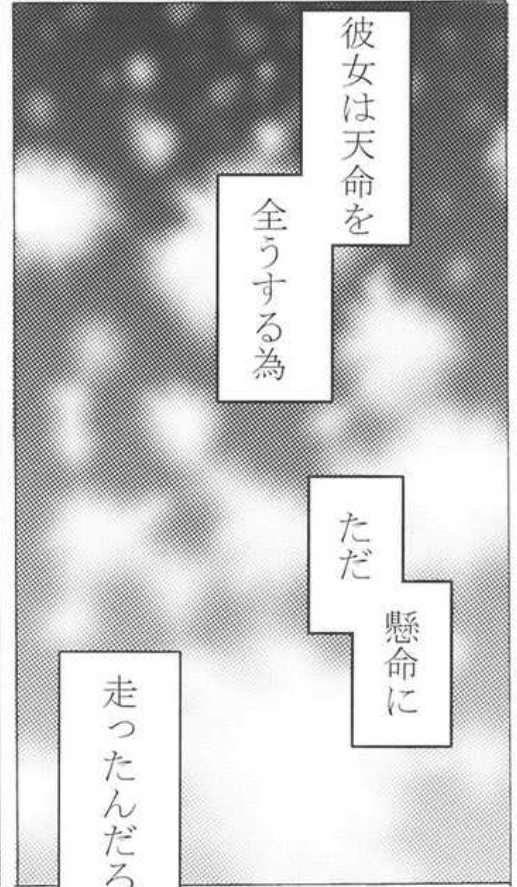
泣くことさえ
忘れて



彼女に

雪の降る音は

届くことなく。



彼女は天命を

全うする為

ただ

懸命に

走ったんだろう

編纂の目々の果てに

心の表情を凍てつかせていく

彼女を 幻視した

ああ…

私は後悔して
いるんだな…

豊稜祭に誘えなかった
自分に。

こういうこと
なのかな

こんなとき

傍に
いるから

ともだち
なんだよね



あなたの凍えた
手のひらが

ここは
寒いね

もっと暖かくなる
ために、私は



どうすればいいかな…

そろそろ
行こう



みんなの
ところ！



ふんふん…



千年漂う魂が
今宵止まり木に
選ぶは

10年そこらの
脆弱な魂、か

忘年の友とは
よく言った
ものね…

では、



ふふ

人間とは
かわいいものね



よい
お年を。

新しい年

くま





あけまして
おめでとう

あけましておめでとう——

何だこれは！



一緒に振袖を着て
初詣に行こうと思って



……それにしても
すごい数だな

それこそ歴代阿礼の子供が
着ていた物があるからね



一日の大半は
書物に向かわねばならず
身体も弱い私に対して

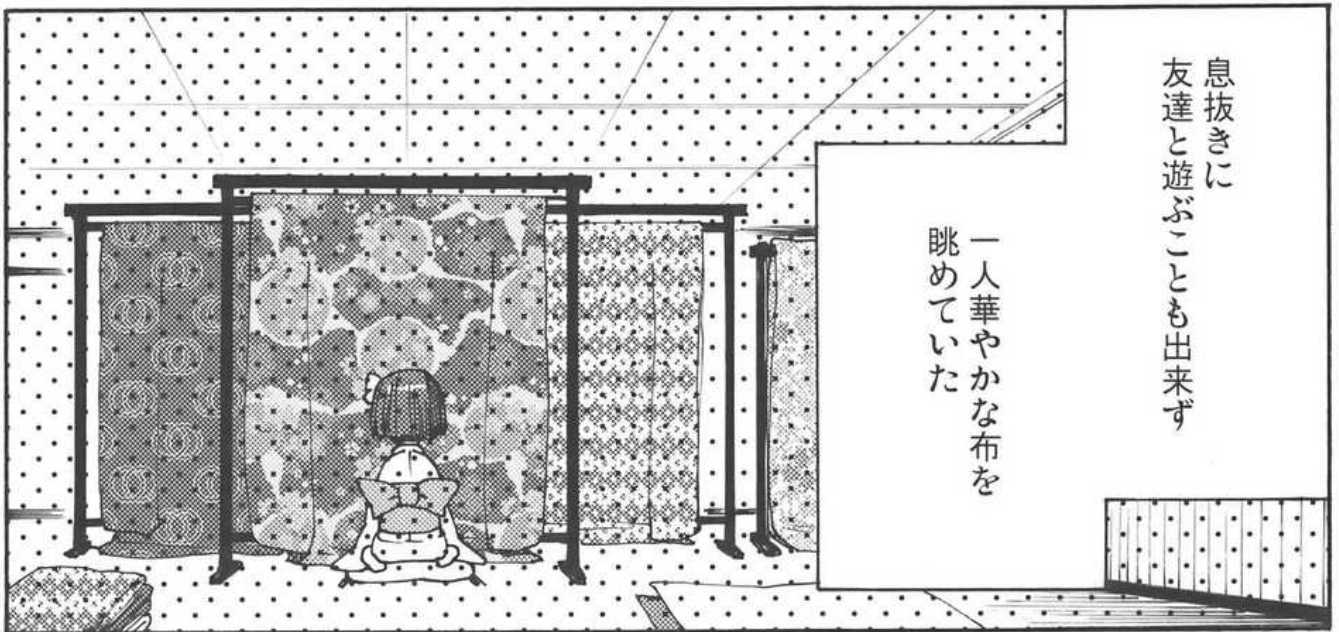
皆が私にくれる
贈り物は晴れ着用の
美しい反物だった



少女着中...

息抜きに
友達と遊ぶことも出来ず

一人華やかな布を
眺めていた

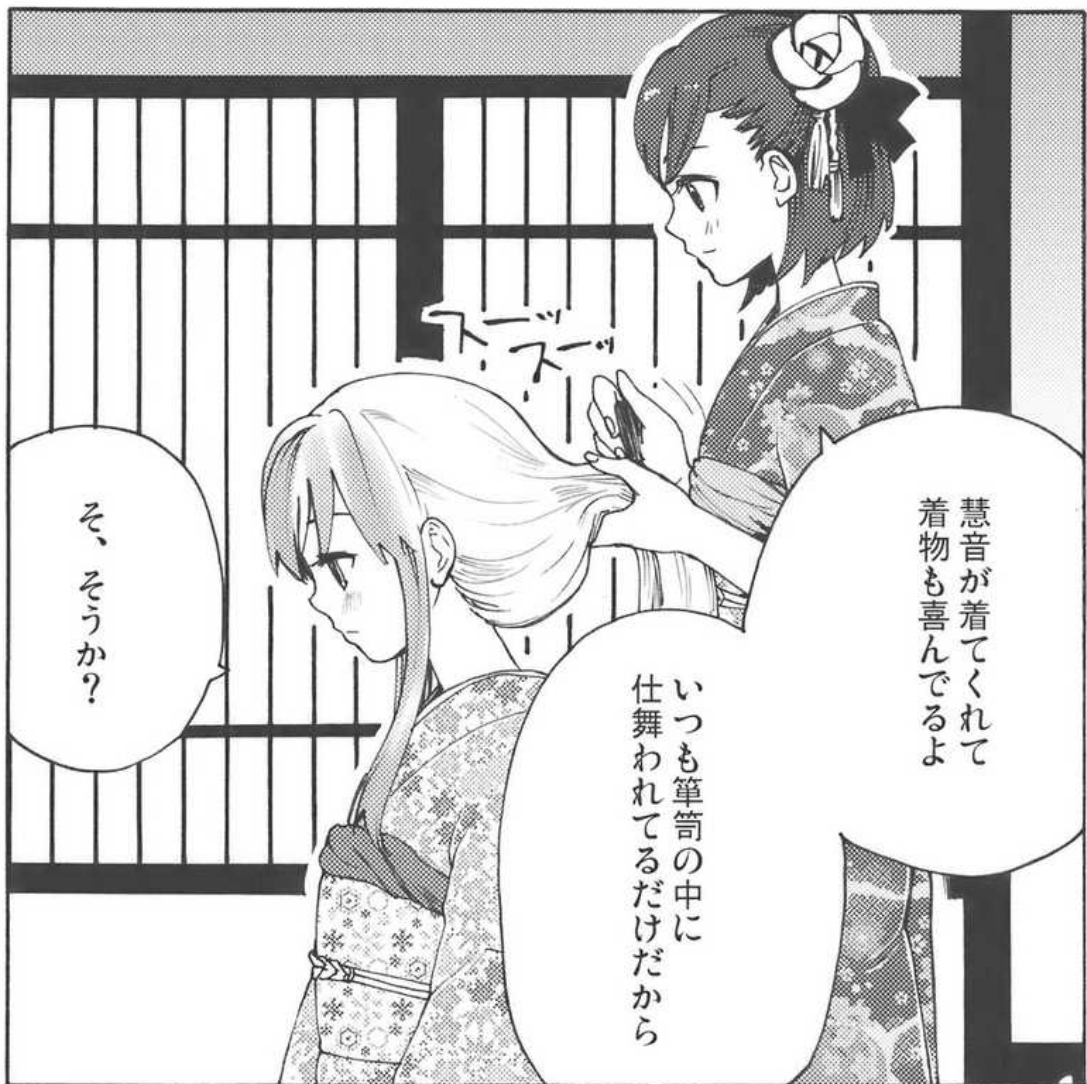




だから私にとって
この沢山の着物たちは

孤独の象徴だったのだ

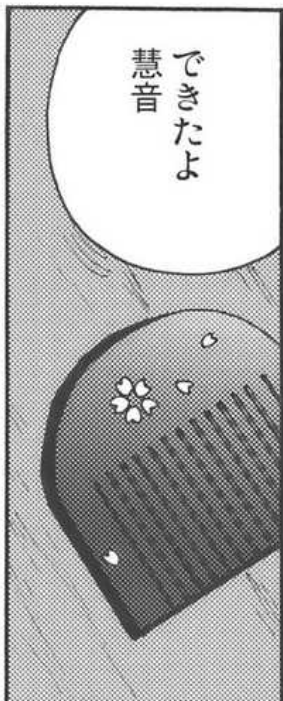
——でも



慧音が着てくれて
着物も喜んでるよ

いつも箆笥の中に
仕舞われてるだけだから

そ、そうか？



できたよ
慧音



阿求
……すごいな

よく
似合ってるじゃないか

この格好で
子どもたちに会ったら
笑われそうだ

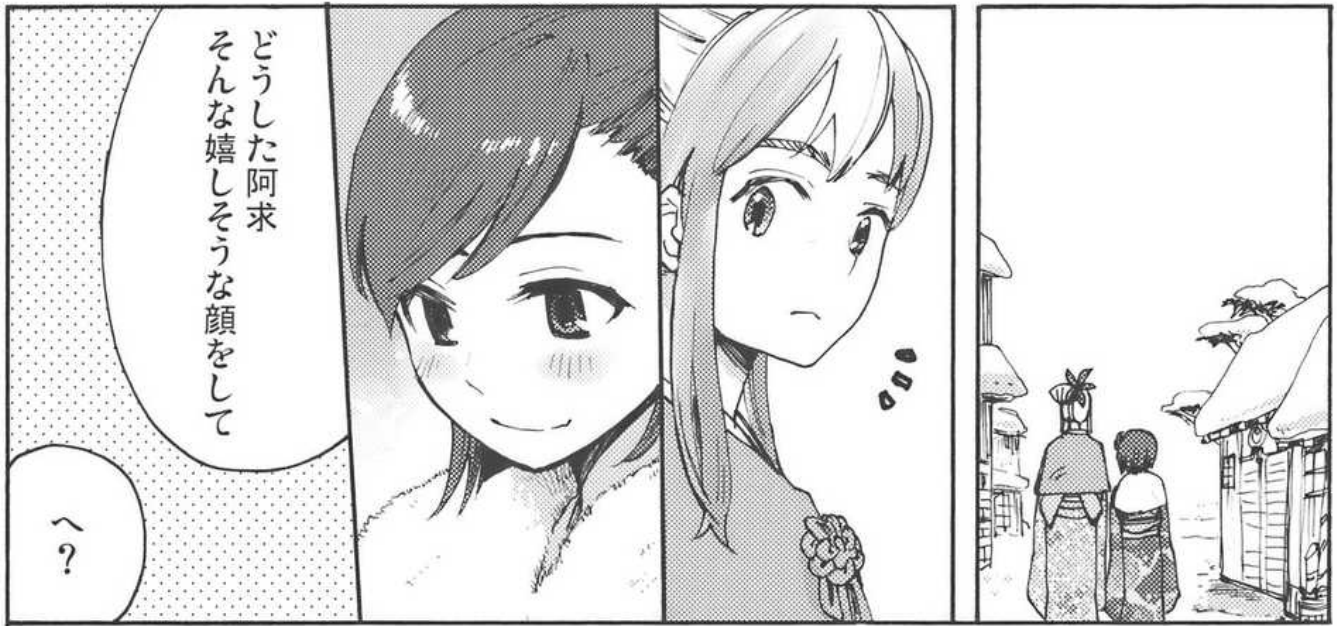


慧音が綺麗すぎて
気付かなかったりして



じゃあ

そろそろ初詣に
行くとしますか！





今日は私が
エスコートしよう

正月の楽しみ方を
教えてやろう!



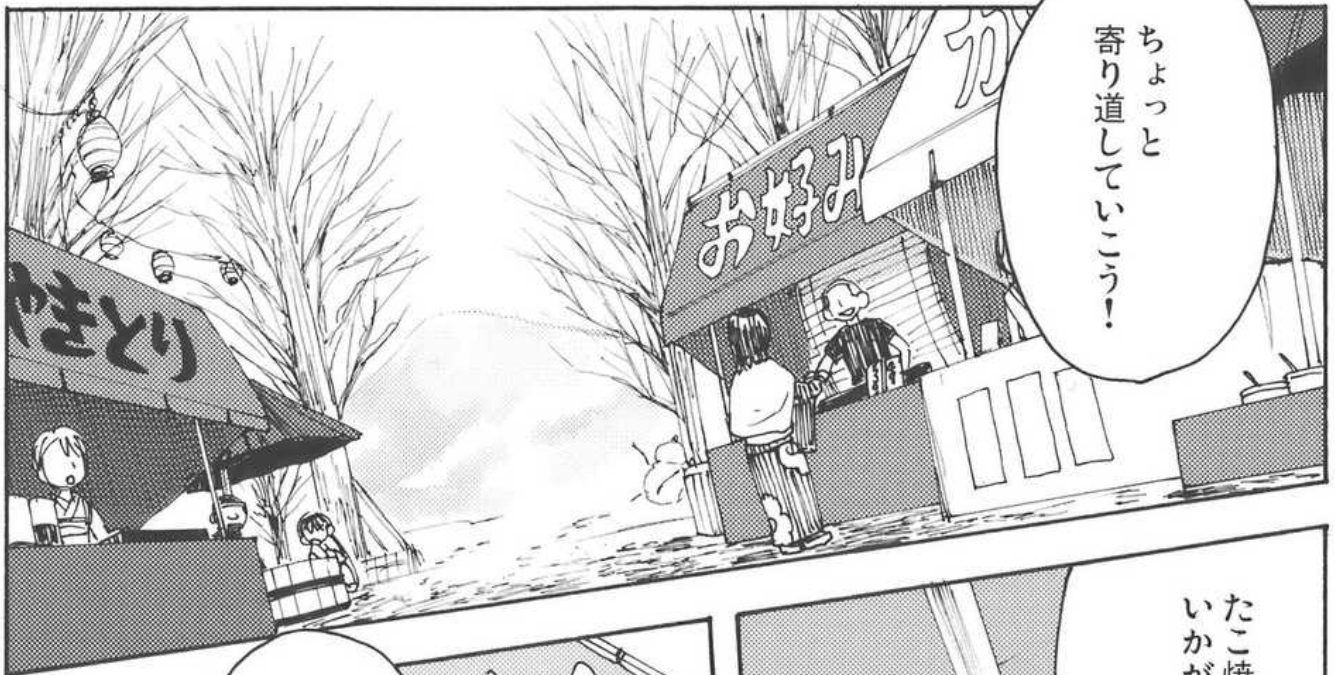
博麗神社の巫女は
あんな調子だから
正月といえども
寂れているが



今年は里の方に
守矢神社が
出店を出してるんだ
(信仰集めに)



慧音



ちょっと
寄り道していいこう！



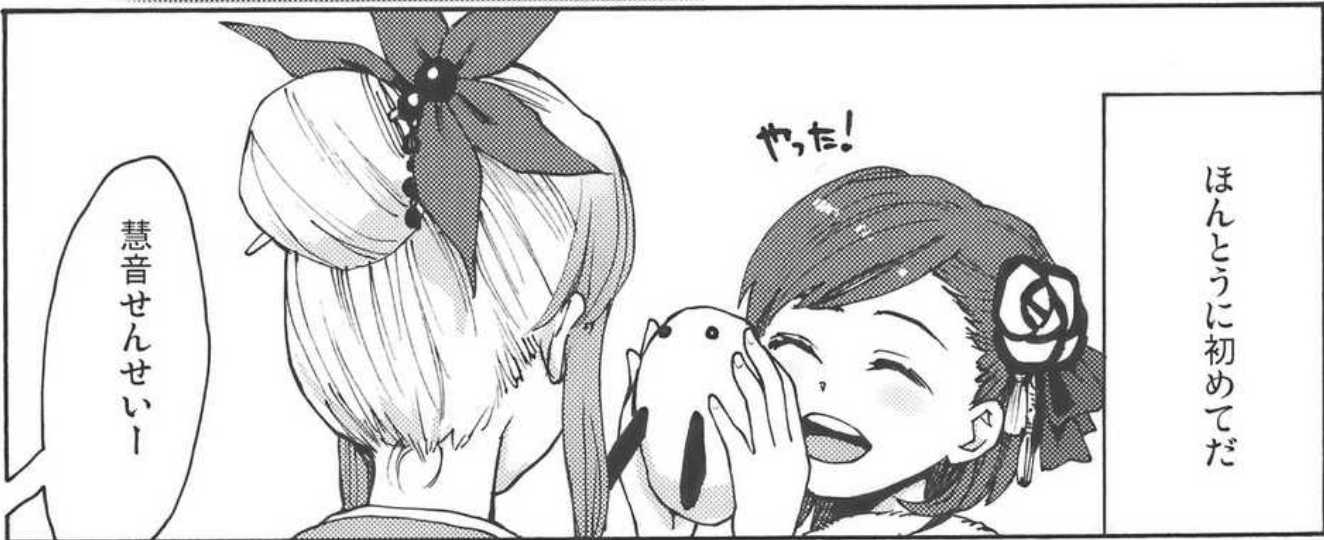
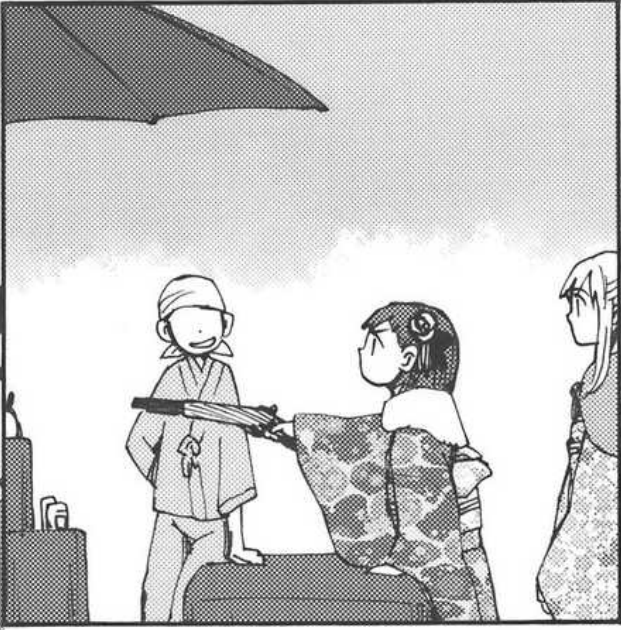
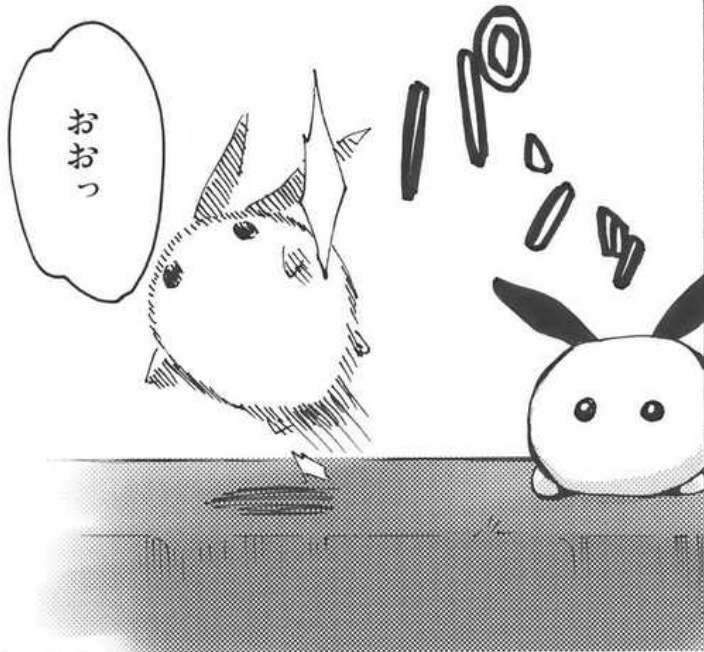
……神事とか
ないんですか



たこ焼き
いかがですかー！



二柱は朝まで飲んで
まだ寝てらっしゃいます





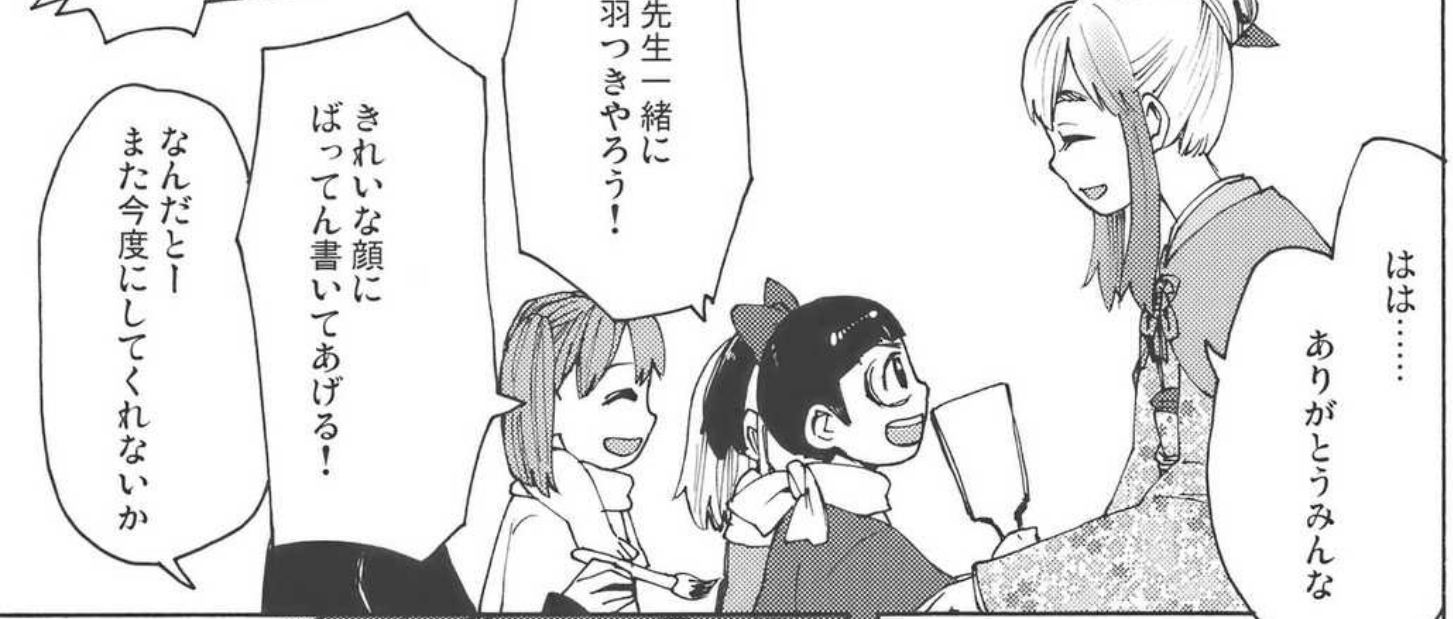
やっぱせんせいだ!

おはよう
おはよう
おはよう!!!

その格好
どうしたのー

か

すっごい
きれいだよ!



はは……

ありがとうみんな

先生一緒に
羽つきやろう!

きれいな顔に
ばってん書いてあげる!

なんだとー
また今度にしてくれないか



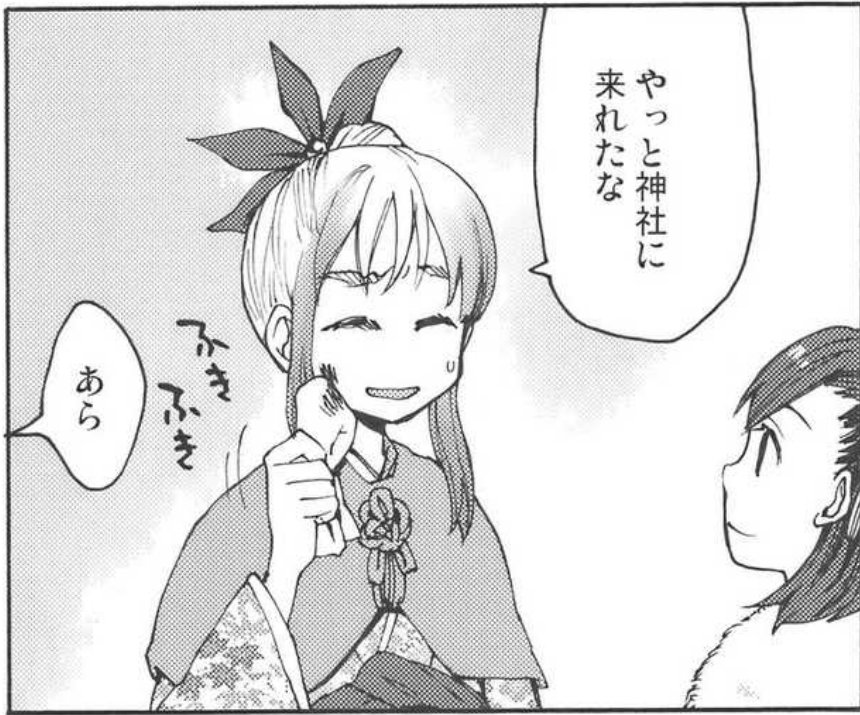
わははは

んず

たいけ

きや

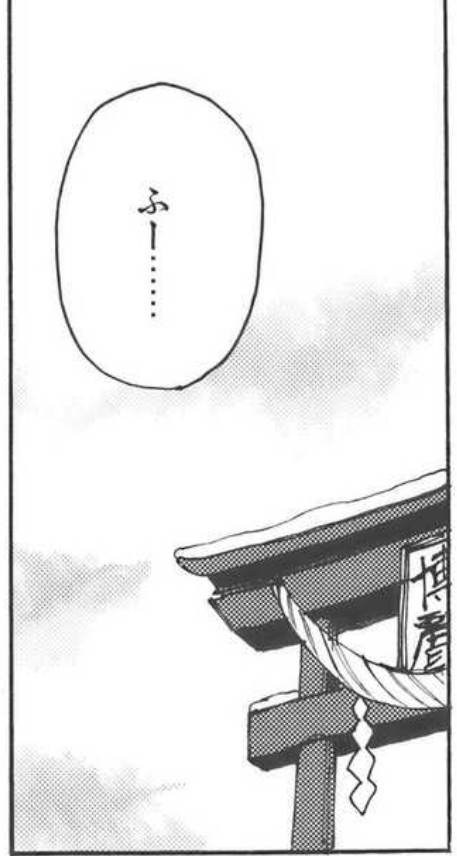
きや



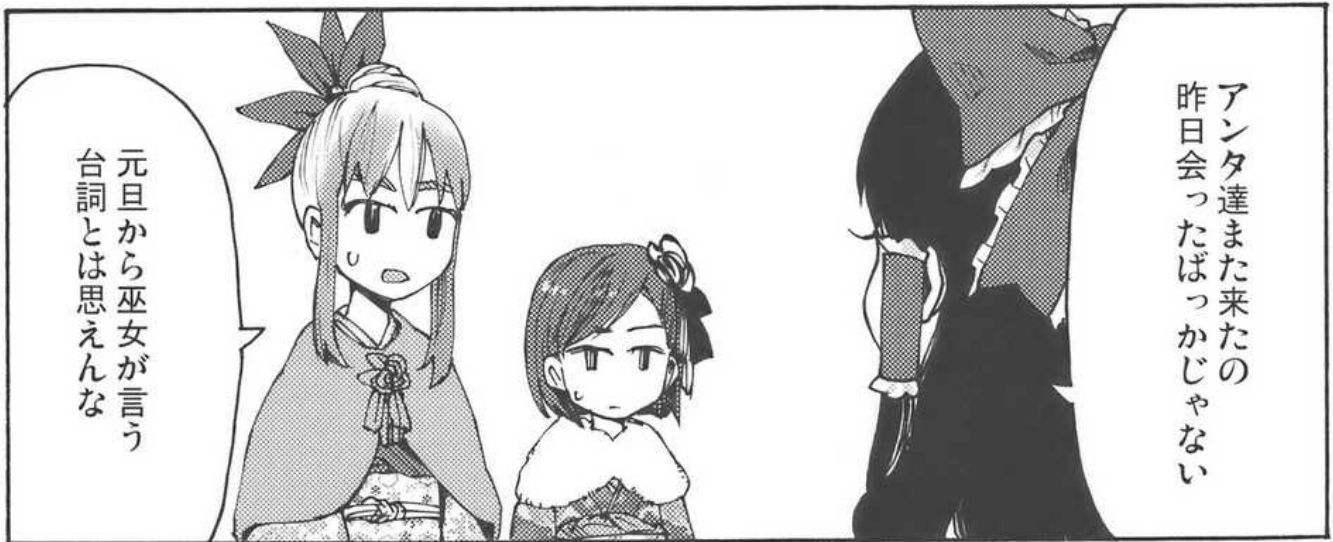
やっと神社に
来れたな

あら

ふき
ふき



ふ……



元旦から巫女が言う
台詞とは思えんな

アンタ達また来たの
昨日会ったばっかじゃない



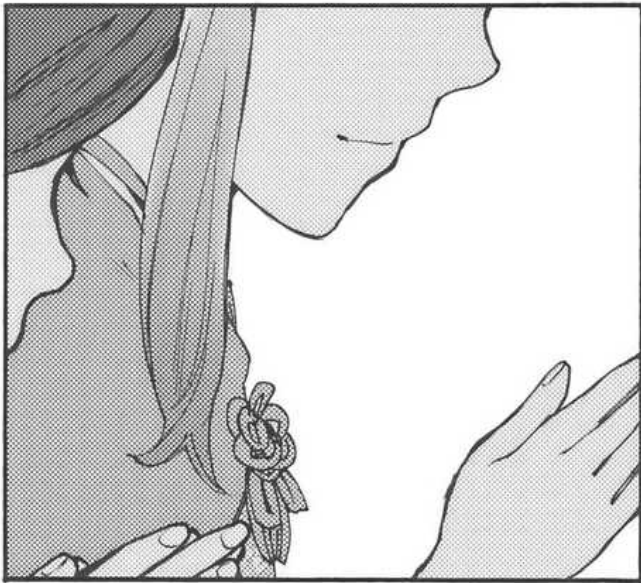
たたく

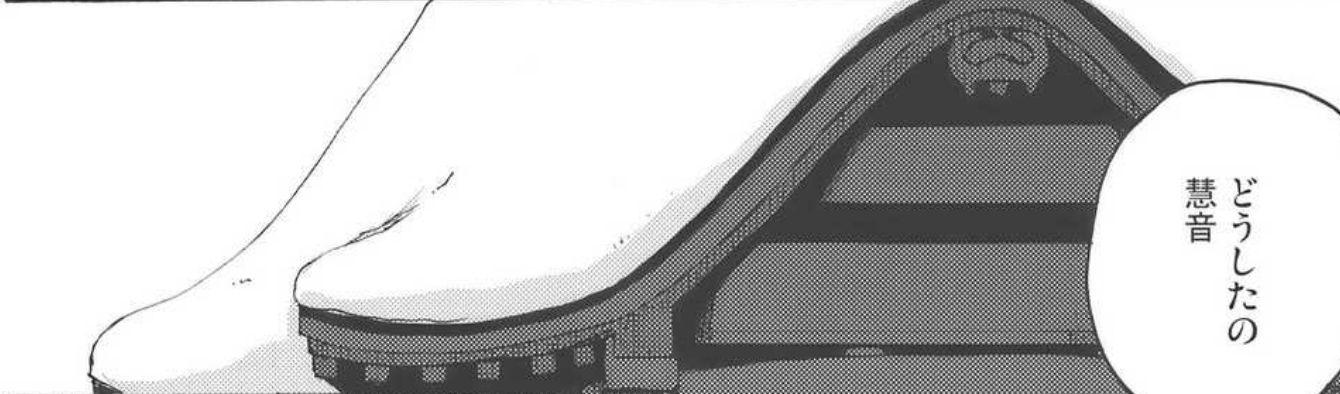


まあ折角来たんだし
賽銭でも入れてきなさい

そうするよ

ふあふ





どうしたの
慧音

いや……

何をお願いしてるのかと
思ってたな

熱心そうに
見えたから



うん…

友達が
もっと増えたら
いいな…って
思ったんだ

私も…



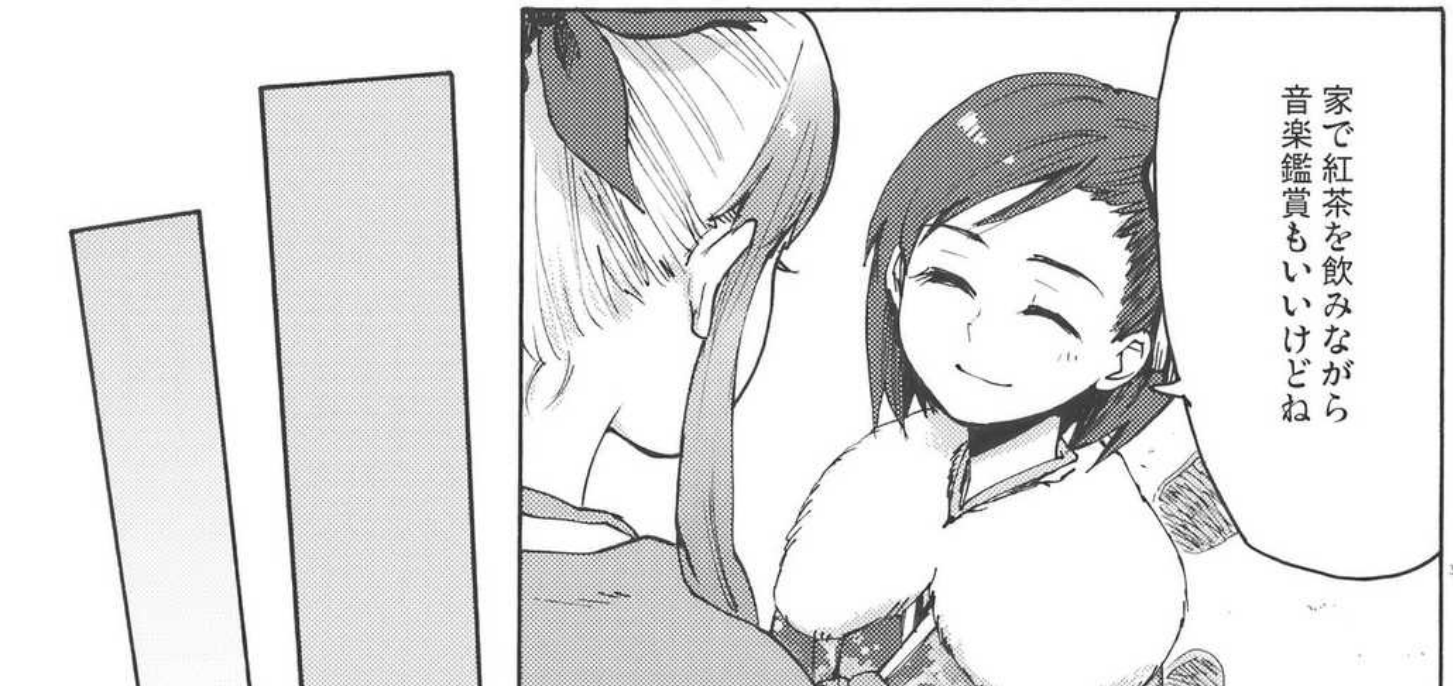
ふつうの子ども
みたいに

外で遊んだり
寺子屋に通ったり

そういうのも
いいかな…って

今日慧音と過ごして
思ったんだ

阿求…

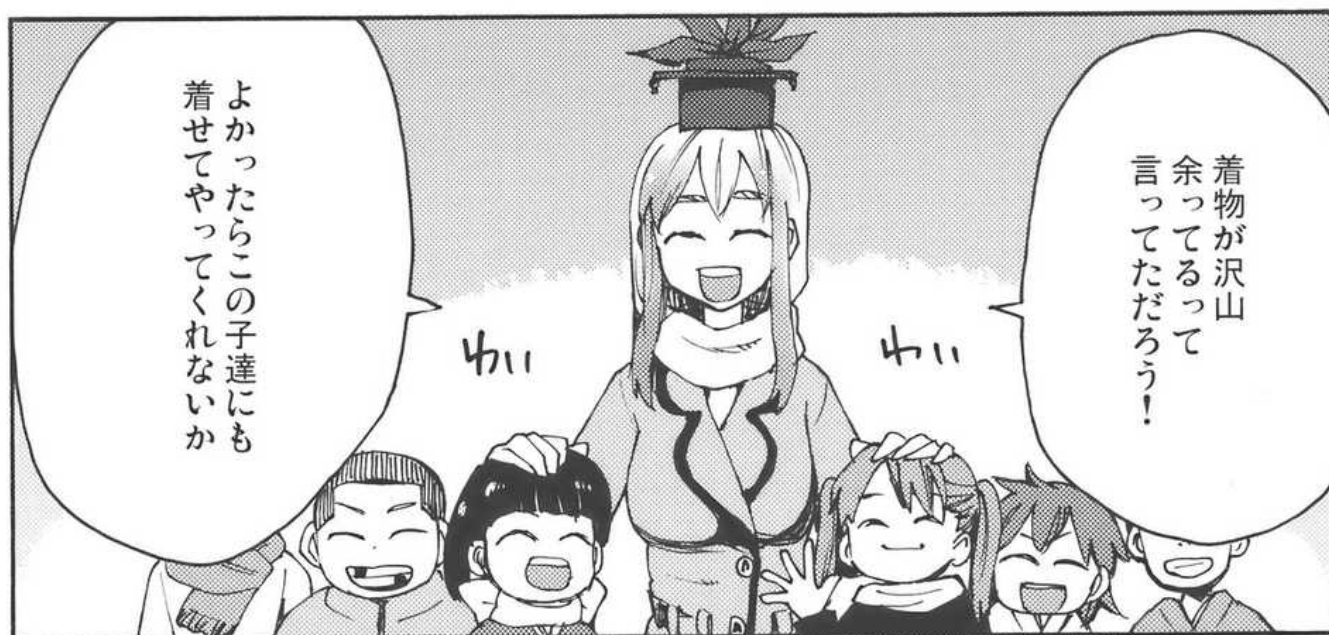


家で紅茶を飲みながら
音楽鑑賞もいけどね



遊びに来たぞ
阿求!

……慧音
これは一体

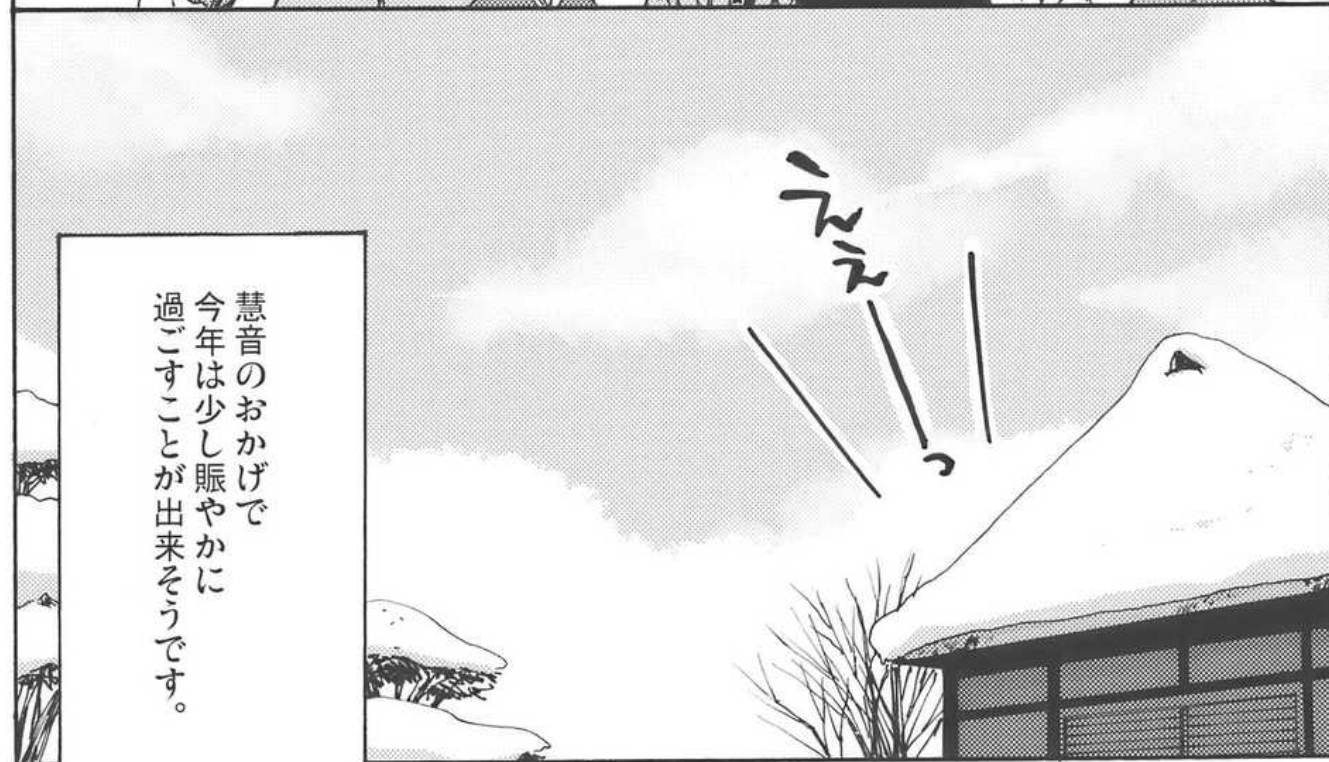


よかったらこの子達にも
着せてやってくれないか

わい

わい

着物が沢山
余ってるって
言ってただろう!



慧音のおかげで
今年は少し賑やかに
過ごすことが出来そうです。

くまさんから「一緒に本を作りましょう」と最初にお誘いを頂いたのは春頃のお酒の席だったと記憶しています。
それから打ち合わせ、装丁を決めるため印刷所に行ったり…うーんこれが人と本をつくる楽しみか、と。かみ締めさせて頂きました。
また、この話を描いたことで憑き物がひとつ落ちた実感があります。
この機会を与えて下さったくまさんに感謝します。合掌。

空十雲

空十雲さんの『幻想郷求慧眼』を初めて読んだ時、私は言い様の無い感銘を受けました。
こうして二人で一冊の本を出すことができるととても嬉しく思っております。
思い出に残る一冊で一年を終えることができました。

くま

みなさま、よいお年を。





『ALMANAC』

2009年12月30日
コミックマーケット77

空十雲

(<http://soratokumo.blog.shinobi.jp/>)

くま

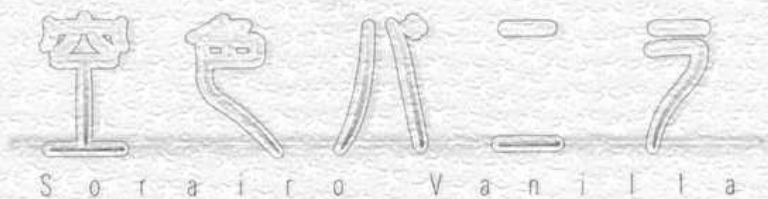
(<http://spring28.sakura.ne.jp/crimsonvanilla/>)

印刷

パワープリント様

原作

上海アリス幻楽団



アルマナック

ALMANAC

